

「大学入試英語成績提供システム」についての新情報

進路情報研究センター ライセンスアカデミー 教材開発課 / 2019年1月
年末の12月28日に大学入試センターから「大学入試英語成績提供システムの概要」
が発表になりました。ここでは、その中から、新しい情報をお知らせします。

○成績提供システムの構成

①「英語成績データ確認システム」〈受験生⇄センター〉

受験生に関する情報（共通ID・名前・住所等）を管理するとともに、資格・検
定試験の成績情報がセンターに集約され大学に対し提供可能な状態になっている
ことを確認できるようにするためのシステム。

②「成績受理システム」〈試験実施主体⇄センター〉

試験実施主体からセンターに送付される成績情報を受け取るためのシステム・

③「成績提供システム」〈大学⇄センター〉

現行の大学入試センター試験の成績情報と同様に、センターから大学に対し成績
情報を提供するためのシステム。

○集約・提供する成績の対象期間

成績提供システムにより集約・提供する成績情報は、大学を受験する当該年度（4
～12月。ただし、12月実施分については、成績情報の集約・確認・提供に要する期
間を考慮し、一定の範囲に限定する見込み。各試験実施主体より対象となる試験回を
あらかじめ明示）に受検した資格・検定試験に係るものが対象。

○本人確認

共通IDの重複発行を防ぐため、申込時の本人確認書類として、次のものを求める
こととする。

- ・高校等在学者：在学証明書（現行の大学入試センター出願時と同様に、在籍校で一
括して証明していただくことで、高校等在学者本人からの書類提出は不要とする）
- ・既卒者その他：住民票、在留証明等

（注）「既卒者その他」には高等専門学校¹の在学者、高等学校卒業程度認定試験
等の合格者や合格見込みの者等を含む。

○申込み及び発行の時期

成績提供システムにより、センターが集約・提供する資格・検定試験の成績情報の
範囲については、実施方針において「センターは受検者の負担、高等学校教育への影
響等を考慮し、高校3年の4月～12月の間の2回までの試験結果を大学に送付する

こととする」とされていることから、共通IDの申込み及び発行の時期は、高校等在学者については高校2年生（就業年限3年の場合）の11月ごろにおおむね2～3週間程度の申込期間を設けて受付を行い、12月～1月ごろを目途に発行するというスケジュールを想定している。

既卒者その他についても、大学を受験する年度の前年度の同時期に申込みの受付及び発行を行うことを想定している。

共通IDは有効期間を2年間とする予定であるため、翌年度までは同じ共通IDを使用できる。そのため、高校2年生の時点で共通IDの発行を受けた受験生が、高校等卒業後1年目にも受験する可能性を想定して高校3年生の11月ごろに再度申込みを行う必要はない。

○2020年3月に高校等を卒業予定の受験生（現在高校2年生）の共通IDの発行等

成績提供システムは2020年度から運用を開始する。その前年度である2019年度末（2020年3月）に高校等を卒業予定の受験生については、翌2020年度に大学を受験する可能性もあることから、2019年度に限り、当年度の高校2年生に加え、高校3年生についても、在籍校で一括して共通ID発行の申込みをいただけるようにすることを検討している。その時期等については、別途お知らせする。

⇒高校2年生（現在）共通ID発行の申込みができる。

○センターへの成績送付期間

成績提供システムにより、大学に提供される成績は、総合型選抜（9月以降に実施）及び学校推薦型選抜（11月以降に実施）での利用も想定されるため、センターから大学成績提供時期を複数回設定する予定。したがって、各試験実施主体においては、実施するどの資格・検定試験、いつの回の成績提供に間に合うか（利用可能であるか）をあらかじめ受検生等に明示するとともに、その提供時期に間に合うようにセンターへの成績送付を行っていただくことになる。

○センターにおける成績情報の集約

センターは、試験実施主体から送付された成績について、個人ごとの共通IDにより情報を集約する。受検生が2回までの資格・検定試験申込みの際に、所定の欄に共通IDを記入し、2件までの成績がセンターに送付されることになる。

仮にある受検生が3回以上共通IDを記入して試験申込みを行った場合は、センターには3件以上の成績が送付されてくる。この場合は、試験実施日（試験実施日が複数にわたる試験の場合は、最初の日）が早い順に2件までの成績を成績提供システムによる集約・提供の対象とし、その他の成績は無効とする。

⇒どの試験を受けるかの選択が大事になります。